

相国寺御用達

京名菓 雲龍

雲龍は、俵屋吉富の七代目店主が相国寺所蔵の「雲龍図」（狩野洞春筆）に感銘を受け、うねる雲間を飛翔する力強い龍の姿を表現し創作した一世の名菓です。

大粒の丹波大納言小豆をはじめ、吟味を重ねた最高級の素材を用い、現在も変わらず、熟練された職人の手で、一本一本丁寧に作りお作りいたしております。

大切な方への心を込めた贈り物に、京名菓 雲龍をどうぞ…。



京菓子司 俵屋吉富

本店

京都市上京区室町通上立売上ル
電話 075-432-2211

烏丸店

京都市上京区烏丸通上立売上ル
電話 075-432-3101

図明

令和二年 夏号(第二四号)

大本山相国寺
相国会本部



U R L <https://www.shokoku-ji.jp>
E-mail kyogaku@shokoku-ji.jp (教学部)

本誌『円明』のバックナンバーについて、
平成20年夏発行の第90号以降は、
相国寺派ホームページ内でご覧いただくことが出来ます。



目次

相国寺、慈照寺等行事休止、変更一覧

カラグラフィア◎相国寺防火訓練、救命講習会

◎裏千家十五代宗匠 鵬雲斎大宗匠 承天閣美術館にご来館

巻頭言「コロナウイルスに思うこと」..... 菅長大龍窟 有馬頼底

御挨拶..... 宗務総長 佐分宗順

「コロナウイルスに思うこと」..... 相国寺会長 片岡匡三

鹿苑寺「金閣炎上70年」目撃証人が語る..... 眞如寺閑栖 江上泰山

相国寺の庭園（第八回）竹垣と石灯籠..... 植昭 長岡造園 長岡秀晃

親心..... 演劇塾 長田学舎 栗津もと

本山だより.....

坐禅会のご案内.....

教区だより.....

教化活動委員会活動報告..... 教化活動委員会委員長 佐分宗順

相国寺史編纂室だより.....

北山だより.....

東山だより.....

承天閣だより.....

「茶の湯」展 体験イベント 和菓子教室.....

「茶の湯」展 禅と数寄展 十五代楽吉左衛門（直入）氏記念講演.....

「教育プログラム」博物館講座.....

「茶の湯」展 禅と数寄展 裏千家十五代宗匠 鵬雲斎大宗匠ご来館.....

宝物拝見「後水尾天皇像 幸仁親王筆」.....

心のすがた.....

表紙写真

「法堂」本尊 釈迦如来

すべてのものの祈りにこたえ、苦しみから救うとされる。疫病退散をお祈りしたいものです。

76 74

72 71

70

58

53

46

43

36

25

19

16

14

10

6

4

2



まるにくん
© 2020 相国寺

新型コロナウイルス感染症
の拡大防止の為、以下の行事を
中止、縮小させていただきます。
今後の詳細につきましては
相国寺派ホームページ等にて
ご確認ください。

URL <https://www.shokoku-ji.jp>

相国寺、慈照寺等行事休止、変更一覧（八月より十二月まで）

八月二、三日	相国寺曉天講座	中止
九月二十二日	相国寺彼岸会	檀信徒関係者の参拝は中止
九月二十五日～十二月十五日	相国寺秋の特別拝観	中止
十月二十一日	相国寺開山忌	檀信徒関係者の参拝は中止
十一月一日	慈照寺秋の特別拝観	中止
十一月一日～令和三年一月十七日	承天閣美術館「いのりの四季―仏教美術の精華」	開催予定
	相国会本部研修会	中止
	相国寺派寺庭婦人研修会	中止
通年	本山維摩会（相国寺坐禅会）	休止中
	東京維摩会（相国寺東京別院坐禅会）	休止中
	慈照寺坐禅会	休止中

相国寺防火訓練、救命講習会

令和二年一月二十三日

(詳細は、本山だより36ページを参照)



要救護者移動



重要物品搬出



全体講評



救命講習



AED講習



放水訓練



初期消火訓練

裏千家十五代宗匠 鵬雲斎大宗匠 承天閣美術館にご来館

(詳細は巻末カラー73ページを参照)
撮影◎たやまりこ



暑中お見舞い申し上げます



内局

令和二年 盛夏

相国会総裁

副総裁

会長

本部長

江上

正

道

三

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

順

底

馬

佐

分

宗

頼

「コロナウイルスに思うこと」



管長 大龍窟 有馬頼底

現在、世の中は新型コロナウイルスが蔓延し、日本全国、世界中で大変なことになっています。まさに、世は仏教の世界観を表す「劫濁」^(注一)の相を呈しております。檀信徒の皆様は大丈夫でしょうか。お見舞い申し上げます。

そのような中、去る六月一日に全国の花火師の方々が、一日も早いコロナ収束を祈って、各地で一斉に花火を上げていただいたことに、我々は大いに元気づけられました。

エドガー・アラン・ポー^(注二)の短編小説に「赤死病の仮面」というのがあります。全身の毛穴から血液が流れ出て体が血まみれになって息絶えてしまう病気で、これがある国で大流行してしまい、その時国王はどうしたかという、残った元気な者たちと城砦の一ヶ所に立てこもり、封鎖して外へ出られぬようにしたのです。仮面舞踏会をひらくなど饗宴にふけり、これでやっと安心した途端、そのうちの一人が赤く染まってきたものだから、王たちは恐怖におののいて慌てふためいたのです。エドガー・アラン・ポーは、作中で人々が絶滅を予想するであろうことを思わせるのであります。

今、世界中で起きていることも、考えてみれば実は人間の力がいかに無力であるかということに突き当たるのではないでしょうか。しかし

ながら、我々人類は油断せず、恐れず、さらに畏れず、屈せず、堂々と前を向いて行けばよいのです。

相国寺の仏殿・法堂の名前を「無畏堂」と申します。本来畏れること無く法を聞くお堂であります。ご本尊佛をお祀りするだけでなく、上堂説法が行われる最も重要な建物であります。天井には大きな大きな龍がとぐろを巻いて、四方八方ににらみを利かせております。

私たちは無力ゆえに、先人たちの教えに習わねばなりません。先人たちもまた、そのようにして数々の艱難辛苦を乗り越えてまいりました。皆様も大変でありましょうが、今こそ恐れ無く、知恵を出し合って変化する日々に対応し、力を合わせてまいりましょう。

仏教、禅の教え、寺と僧侶の役割なども問われるときであります。皆様と共にこのウィルスの退散を祈念し、無事好日を願おうではありませんか。暑さ本番です。どうかお元気で過ごしてください。

◆編集部注

(一)「劫濁」こうじやく 仏教用語「五濁」ごじやくの一つ。濁とは濁り、末世における穢れ現象のこと。五つの穢れとは、劫濁、見濁、煩惱濁、衆生濁、命濁をいう。

「劫濁」は、時代の穢れで、疫病、飢饉、天災、戦争などが起き、世の中が乱れること。末世の社会悪。

「見濁」は、衆生が邪悪な思想・見解を起こすこと。

「煩惱濁」は、衆生の煩惱、精神的悪徳が盛んなこと。

「衆生濁」は、心身ともに衆生の資質が低下すること。

「命濁」は、衆生の寿命が短くなること。

古くは、聖徳太子の時代『法華義疏』などに見ることができる。

(二) エドガー・アラン・ポー

一八〇九年、アメリカ生まれの小説家、詩人。短編小説、恐怖小説、推理小説などで知られる。

「赤死病の仮面」は一八四二年に発表され、原題は「The Mask of the Red Death」。

御挨拶

宗務総長 佐分宗順



本派寺院ご住職方、相国会会員の皆様、暑中お見舞い申し上げます。
本年三月をもって二期目の宗務総長としての任期を無事終える
ことができました。任期中の三年間、計画いたしました諸改革や整備
も大きく進めることが出来ましたのは、ひとえに事務局始め関係各
位のご支援のおかげと篤く感謝申し上げます。

さて、本年三月の定期宗会において三期目の宗務総長の推薦を受
け、さらに、引き続き慈照寺住職、承天閣美術館館長の要職を兼務す
ることとなりました。相国寺派のより一層の発展を期し、人事を一新

してこれからの相国寺を担う人材の育成と組織の充実を図って参り
ます。

三期目の内局の仕事は相国寺派規則の変更に始まりました。昭和
四十六年以降変更されないうままでしたので、新しい宗制、相国寺規則
とも整合性を図り、副住職も部長職に就任できるよう、一部変更を臨
時宗会において検討いただきました。緊急事態宣言の最中でもあり、
臨時宗会は、文書会議といたしましたが無事変更の承認を得ること
ができ、文部科学省に変更の手續をいたしました。

引き続き新諸規則に則り、公正な組織運営が出来るよう、三山の
統合的な運営を進めて参ります。

本年は新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大で、日本を
はじめ世界が近年経験したことのない混乱に陥りました。ウイルス
の犠牲となられた方々に哀悼の意を捧げるとともに、未だに後遺症

に苦しむ方々がおられると聞きますが、一日も早く回復されることをお祈り申し上げます。

この状況下について日本も緊急事態宣言を出すに到り、相国寺一山におきましても、本山始め鹿苑寺、慈照寺の職員の感染予防や出勤調整を行って、職員の総合的な感染予防対策を行って参りました。相国会本部の役員会や研修会をはじめ一部行事は中止せざるを得なくなり、諸会議は文書会議で承認いただくこととなりました。六月の観音懺法会かんのんせんぼうえについては、今年の参拝者へのご案内は控え、私ども僧侶のみで、例年通り厳修いたしました。相国寺本山の特別拝観と承天閣美術館も今秋までは拝観中止としております。

緊急事態宣言は解除され、少し落ち着きを見せているようですが、第二波、第三波の懸念もあり予断を許さない状況であります。当分の間、今後の動向を慎重に判断してまいりたいと思います。

今回の危機は、ウイルスの脅威だけではなく、経済的な破綻にまで及ぶ危機であり、企業や、様々な組織、宗教を始め、芸術、芸能といった分野に到るまで、経済体制を抜きにして成り立たないことを今更ながら実感したのではないかと思います。いかに我々の生命や生活と安全を守りつつ、世界の安寧と秩序を維持し克服していくかは、これからの社会の命運を分ける選択に懸っています。

我々は宗教者の立場から、コロナ禍後の社会のあり方を模索し、新しい仕事のあり方、経済社会のあり方、その中で営まれる宗教活動がいかにあるべきか、宗教の本質に立ち返り追求していかなければなりません。

どうかなお一層ご自愛いただき、この困難の時代を仏法の加護のもと力強く生き、克服していききたいと願っております。皆様のご健勝をお祈りいたします。

「コロナウイルスに思うこと」



相国会长 片岡匡三

檀信徒の皆様、この度の新型コロナウイルス感染予防のため、我慢と忍耐を強いられておられる毎日、いかがお過ごしでしょうか。また、この度のウイルスに感染され、闘病中の皆様、お見舞申しあげます。一日も早いご快復を祈念いたします。

また、非常に感染のリスクの高い中で、献身的に医療に従事

されておられる医師、看護師、関係者の皆様には、心から敬意を表し、感謝申し上げます。本当にご苦労さまです。

この度のウイルスは、人類の「驕り」^{おご}の隙を突いて入りこんできた、なかなかの曲者^{くせもの}、怖者^{こわもの}です。いまだに治療薬もなく、治療法も確立していないようです。対応がいそがれます。

第一波は、官民一体となって辛抱強く対応したお陰で、何とか乗り切ったようですが、万が一の第二波に備えて、一層の協調が必要です。

禅語に「照顧脚下」^{しやうご したか}とあります。しっかりとお互いが足もとを見つめて、正しい情報のもと暖かい心で、助け合い、焦らず^{あせ}、粘り強く、油断なく対応していきましょう。

鹿苑寺「金閣炎上70年」目撃証人が語る

眞如寺閑栖 江上泰山

1950年の鹿苑寺金閣の焼失から今年7月2日で70年、55年秋の再建から65年を迎える。当時を知る生き証人が年々少なくなる中、鹿苑寺(臨済宗相国寺派)の最年少の弟子として目の前で金閣が焼け落ちる瞬間を目撃した江上泰山・鹿苑寺元執事長が当時を振り返り、金閣を後世に伝えていく決意を語った。

事件当時の私は中学3年生でした。当時の村上慈海住職へ弟子入りして鹿苑寺に住むようになって1年もしないうちに胸を患い、50年の4月から実家の正法寺(福井県高浜町)で療養しました。そして父親に連れられて再び鹿苑寺に戻ったその夜に、金閣が放火で炎上しました。

事件発生時は睡眠中でしたが、誰かが廊下を走り回る音で目が覚めました。すぐに天に真っすぐ昇る火柱を目撃しましたが、突然のことで状況がのみ込めず、皆があたふたしていました。恐怖を感じる暇もありませんでした。

その後、警察の指示で一同が玄関に集まりました。しかし、兄弟子の林養賢さんの姿だけが見当たりませんでした。

すぐに私が金閣に一番近い場所にある、林さんの部屋へ確認に走ったところ、ほとんどの私物がすでに処分されていたため、警察による山狩りが始まりました。山中で発見されると、林さんは自分の犯行だと自供しました。

林さんは寡黙で、ほかの兄弟子には厳しい人でしたが、私に対しては優しく、読経や柔道の技、学校の勉強を毎日のように教えてくださいました。一部の報道や三島由紀夫の『金閣寺』では放火の動機は「美への嫉妬」とされていますが、正確なところは誰にも分かりません。吃音への悩みや住職の厳しさへの反感、拝観者の多さに伴う雑務への不満もあったかもしれませんが。

住職をはじめ寺内に口に出して林さんを批判した人は一人もいませんでした。苦悩に気付いてあげられなかったことへの自責の念もあったかもしれませんが。

事件後すぐに再建の議論が始まりましたが、本来金閣を護り伝えるべき寺の内部の者による放火だったため、鹿苑寺と住職への世間の目は大変冷たいものでした。

しかし、責任を痛感していた住職が謝罪の気持ちで托鉢を連日行ったところ、

植昭 長岡造園 長岡秀晃

金閣炎上70年

その誠実さが世間の同情を呼びました。全国の多くの方々から寄付や協力が得られるようになり、朝鮮特需による好景気もあって、わずか5年後の55年10月に再建の落慶法要を迎えることができました。

金閣の焼失は一時的に私たちの暮らしを貧しくしましたが、今では嫌な感情は一切ありません。その再建の過程で大変多くの方の協力を得られたことへのありがたい気持ちでいっぱいです。後世の方にも、絶対に二度と金閣を失わないという思いを受け継いでいただきたく思います。

（聞き手 桐畑昂）

語る瞬間

目撃証人が語る 焼け落ちる瞬間

江上泰山[※]執事長

村上春樹・宮田龍彦による書を前に
読み、手取る江上波乱事典

責任痛感、再建へ全国托鉢

[illegible]

庭園にアクセントを加えるアイテムである石灯籠と竹垣について、今回はお話をさせていただきます。

読者の皆様は「竹垣」と聞いて、どんな竹垣を想像されるでしょうか。竹垣には多くの種類がありますので、各々違った竹垣を想像されていると思います。

丸い竹をそのまま使う・半分に割って半円形で使う・六つ割り程度に割って裏面を削って細い板状にして使う等、様々な使い方があります。このように多様な加工が可能ですので、それらを組み合わせた竹垣の種類も多岐にわたります。また竹には生育が早く、材料として使えるようになるまでの時間が短いというエコな一面もあります。

毎年、相国寺の竹やぶでもかなりの本数が生えてきます。その中から曲がりや生育の年数を考慮して選んだ物を加工して、竹垣に使用しています。相国寺の竹やぶの竹は真竹で、真竹は孟宗竹よりも肉が薄く、加工しやすいので竹製品に適しています。



丸二紋の竹垣

相国寺の竹垣の中から一つ、浴室の南側庭園の竹垣を紹介します。庭園とお手洗いの区切りに、相国寺の丸二紋をあしらった竹垣があります。庭側からお手洗いが丸見えにならないように設置されています。

「^{たてこ}立子」と呼ばれる竹の裏面を削いだものを表裏交互に枠に貼り付け、少しすき間を作って完全な壁になってしまわないように施工してあります。すき間を作ること、軽快感がある竹垣に仕上がっています。風も通しますし、斜めから見ると完全に視界を遮ってしまうというわけでもありません。

表裏交互に貼り付けていくことで、竹の裏面も見えることになります。ここではその裏面に杉皮を貼り付けて、丸二紋を表現しています。この丸二紋も正面から見るとはつきり見えますが、



斜めからの見え方

斜めから見るとぼんやり見えます。見る角度によって少し雰囲気が変わるように仕上げてあります。

庭園には実用性の「用」と見た目の「景」という考え方があります。この竹垣は目隠しとしての「用」と丸二紋のデザインの「景」を両立しています。

次に紹介するのは石灯籠です。昔は灯り取りのため、ろうそく等を火袋に入れて使用されていましたが、現在では専ら庭園の観賞用に用いられています。

石灯籠のイメージはあっても、どのような仕組みになっているかご存じの方は少ないかと思いますが、一般的な石灯籠の造りを簡単に紹介します。

一番下から土台である「地輪^{じりん}」、柱状の「竿^{さお}」、地輪に少し形が似ていて火袋を乗せる「中台^{ちゅうだい}」、火を入れる主体的部分「火袋^{ひぶくろ}」、屋根にあたる「笠^{かさ}」、笠の上の飾りの「宝珠^{ほうじゅ}」という

六つの部材で出来ていることが多いです。地輪より下に「基壇^{きだん}」と呼ばれる基礎が設置されるものもあります。各部材には様々な装飾がなされており、その装飾は場所・時代・石工によって様々です。また、形も四角・六角・八角・丸形など様々な形の物がありますが「石灯籠」と呼ばれるためには必ず「火を入れる部分」があります。これはどんな形の石灯籠であっても共通です。なので、こだわった造形がなくても、石に穴を開けて火を入れられるようにすればそれも「石灯籠」ということになります。

相国寺にも各所に様々な様式の灯籠が据えられています。ここでは新事務棟中庭「蓬萊の庭」の相国寺型灯籠を紹介いたします。この灯籠は過去の円明でも紹介しましたが、火袋の二か所に丸二紋の入った相国寺オリジナルです。ベースは大徳寺の高桐院型灯籠で、形は六角、



火袋の丸二紋



竹垣施工風景

「親心」

演劇塾 長田学舎 栗津もと



相国寺型灯籠

基壇から宝珠までの七つの部材から成る灯籠です。全体的にすっきりとした造りになっており、庭の主景となっています。

ある本に、石灯籠とは『点燈施設のある半永久的石造物である』と書かれていました。この灯籠には雨風に負けず少しでも長く相国寺を彩り、皆様の視覚を楽しませてくれるようにとの願いを込めています。

浅春、三月初めは芽吹きの候―。草木の若芽や幼葉わさなばが愛らしい顔を出し始めます。

四月は春まつ盛りの花の季節―。蕾みを抱いて待ちのぞんでいた花木が一斉に開花して、美しい花絵巻をくりひろげます。

若葉、青葉の光り薫る五月は、風もさわやかで、一年を通じて最も心地よい時季ではないでしょうか。

今年も亦、例年と変りなく自然は美しい恵みをとどけてくれました。併し、この晴れやかで清々しい季節とは裏腹に、全く予期せぬ事が起つて来たのです。新型コロナウイルスの流行です。この流行は、世界中の国へ広まりました。この三ヶ月余りの間に容赦なく世界中の人々に襲いかゝり、危険と恐怖と不安、そして苦痛と悲哀を与え続けて来ました。私たちはこの見えない曲者に、脅え続けて来ました。ほんとうに今まで経験した事のない不安と苦しさの中で過して来たのでした。それが、やっと、やっと取り除かれる様になりました。コロナウイルスの感染が減り、五月末近くになって自粛生活が解かれるようになったのです。

今日まで、危険な状態の日々を生命を賭けて必死でコロナウイルスこんにちに立ち向かわれている医師の先生方や看護師さん達、職員の方々、そして社会生活に欠く事の出来ない種々なお仕事に携わって休むことなく働いて下さっている沢山の方々に「ほんとうに御苦労様です。有難うございます」と染みじみと、深く、ふかく感謝の意を捧げます。併せて、無念にもウイルスに感染されてお亡くなりになった方々へ、心より哀悼の意を申し上げ、御冥福を祈り上げます。

余儀なくされた自粛生活で、家で過ごす方法を考えて体力を落とさないようにしていましたが、それとは別にテレビを見る時間が多くなりました。テレビドラマや映画、特に昔人気のあった時代劇映画やドラマは、御縁をいたゞいた今は亡き俳優さん達が出てられるのを見るのがたのしみになりました。又、大スターさん達の若かりし勇姿も懐かしく拝見する事が出来ました。

この懐かしい映画やドラマを見て想いだされるのが、東映の花形

スター大川橋蔵さんです。

当時大川さんは、テレビドラマ

「銭形平次」(初代。一九六六年)

一九八四年放映)の平次役で、

大へんな人気を集めて

おいでました。

大川さんと御縁を

いたゞきましたのは、

御子息で御長男の大川辰五郎

君がテレビドラマ「大岡越前」

(加藤剛主演、一九七〇年)

一九九九年放映)で、越前守

の息子役でテレビ出演が決つ

た時です。大川さんから

「撮影中、側に付いていて



いたゞきたい」と、直々の御依頼があつたのです。亡き恩師長田純先生からすゝめられて、四ヶ月余り、撮影所通いと辰五郎君に付く生活が始まったのです。

当時、辰五郎君は小学校三年生、私立の小学校ではなく、御自宅から近いその地区の小学校に通つてられました。これは父上である大川さんの「特別扱いをしない」というお考えからだと思いました。辰五郎君は身体が大きい方ではなく、むしろきゃしゃな感じの少年でした。併し「大川辰五郎です。これから、よろしくお願いします」と、きちっと立って、相手の目を見て、しっかりと声で言葉はつきりと挨拶をされました。

大川さんには四人の付人さんがついてられましたが、三番目の方が辰五郎君につかれました。気働きがよく出き、腰軽く立ち動かれる、礼儀正しいほがらかな明るい方でした。御両親である大川さんと奥様から厳しくいわれてられるのでしよう、辰五郎君の身のまわりの世話は、全て手際よくされました。他人には、私にも決して気づかないよう



に細かい心くばりをされて、甘やかす事は微塵もなく、ほんとうにいい付人さんでした。

辰五郎君の演技は、前もって長田先生が見て下さって、何度か稽古をくり返し続けてから撮影現場に臨みますから、監督さんは本番一回で「OK!。上手だ。よかった」とその都度ほめて下さって終わりました。

撮影時間は特別に配慮して下さって、午後から夕方までになっていましたが、前の撮影が延びて時間待ちの長くなる事があります。達五郎君が撮影所に通うようになって間もなく、時間待ちの時でした。現場での張りつめている気持を落としてはいけないと、当時おさだ塾が公演した舞台「バカヤロウとココツチョ」(戦時中、フィリッピンの孤島です。ごす、フィリッピンの孤児と日本軍兵士の美しい愛と悲しい別れの話)のお話をしたのです。辰五郎君は身動きみじろもせず、私の目を見つめ乍ら聞いてくれました。話が終った時、辰五郎君が云ったのです「いいお話だね。このお話、この間、長田先生からも聞いたの」……私は声が出ませんでした。——なんて素晴らしい——。この人……子供なのかしら……。

そんな思いでたゞたゞ辰五郎君を見つめるだけでした。

当時は、カラーテレビが売り出されて間もない頃でした。辰五郎君も白黒テレビは買っていたゝいて持っていたのですが、カラーテレビが欲しかったのでお父さん(大川さん)におねだりしたそうです。そうしたらお父さんが仰ったのです「私は大きくなるまで勉強して、稽古もして来て、舞台や映画やテレビで一生懸命働いているからお金がいっぱいある。だからカラーテレビも買えるし、ベントにも乗れる。君はまだ勉強を始めたばかりだ。これからしっかり勉強して大人になって働くようになってお金がいただけるようになったら自分で欲しい物は買いなさい」と……。辰五郎君は納得したようにうなづき乍ら話してくれました。



大川さんのお言葉の中に「ベント」が出て来ましたが、大川さんはベントに乗ってられました。このベントに辰五郎君は乗せてもらえませんでした。撮影所に通う時はタクシーで、撮影所から屋外へロケーションに行く時は、他の俳優さん達やスタッフの方々と一緒に、撮影所の大きなロケバスに乗りました。これも亦、「特別扱いしない」という大川さんの御心だったと思います。

ある日、「大川さんから電話です」といわれて、気軽に出て「はい、前田さん? (一番目の付人さん)」といましたら「橋蔵です」と、清々しいお声が耳に飛び込んで来たのです。受話器を落とさんばかりに驚きましたが、さわやかなお声は続いて「いつもお世話になります。今日の辰五郎の撮影の予定が、一時間早くなりました。本人を私の車に乗せてお迎えに行きますから、よろしく願います」と仰ったのです。しばらく胸の動悸が治まりませんでした。心が落ちついた時、しみじみと大川さんの「子供を持つ親の心」を思っ胸が熱くなりました。

辰五郎君が「大岡越前」の出演を全て終った後、「銭形平次」に親子

共演で出演する事になりました。その折も撮影中辰五郎君に付く事になりました。

辰五郎君は撮影現場に入ると、必ず大川さんの処へ行つて、「おはようございます。今日もよろしく願います」と丁寧挨拶をします。そこには親子ではない師匠と弟子の張りつめた厳粛な空気を感じました。





辰五郎君は「大岡越前」に出演して、身につけた事も沢山あり、役の人物の生活も自然に入れるようになって力がついて来ていました。大川さんは辰五郎君の演技を真剣に見つめられたり、子供なりの子気味のいい啖呵を聞かれたりすると、やわらかい笑顔でくすつと笑われたりして、いろいろなお顔を見せて下さいました。

撮影が野外のロケーションになった時でした。現場には大川さんのファンの方々が何人か見に来られてにぎやかではなやかでした。しば

らくすると大川さんの付人さんがお菓子の沢山入った箱を持って来られて、「先生(大川さん)がどうぞ召し上がって下さい」といわれたのです。驚いてオロオロして「けっこうです」と手でさえぎると「先生は先にいたゞかれてますから、どうぞ御遠慮なくお取り下さい」といわれるのです。―私なんかいたゞくなんて―まだウジウジし乍ら箱の中を見ると、箱の一番端の角が一つなくなっていました。付人さんにすゝめられてようやく次の一つを震える指で取り上げたのですが、この時も胸の動悸がしばらく治まりませんでした。大川さんのお心くばりに胸が熱くなりました。

あれから何年になりましたか。すでにお亡くなりになっていますが、大川橋蔵さんの「子育ての親心と、人に対しての濃やかなお心くばり」は今も鮮明に心に残っております。

お盆を前にして、久しぶりに大川橋蔵さんの美しい人となりを思い出し、有りし日の感謝と、御冥福を深くふかくお祈り申し上げます。

○鹿苑寺開山忌

十一月二十一日、鹿苑寺（澤宗泰前執事長）では開山忌並びに開基足利義満公の諷経が厳修された。小林老大師を導師に、佐分宗務総長はじめ相国寺一山ならびに縁故寺院尊宿により諷経がなされた。

○本山防火訓練、救命講習会

一月二十三日、相国寺において文化財防火運動の一環として、京都市消防局上京消防署の指導の下、防火訓練ならびにAED講習会が行われた。平成二十六年以来六年ぶりの開催となったが、一山僧侶、寺族、職員、警備員で構成される相国寺自衛消防団、地元の室町学区消防分団、消防局より上京消防隊が参加し、合同で訓練を行った。法堂より出火との想定で、指揮者の下で通報、初期消火、物品

搬出、応急救護の各班の訓練の後、消防車と放水銃による一斉放水が行われ、防火意識の向上に努めた。

続いて承天閣美術館二階講堂において、上京消防署署員による救命講習会が行われ、本山だけでなく鹿苑寺、慈照寺職員も参加して、AEDを使用した心肺蘇生法等の応急手当を学んだ。
（巻頭カラー12ページ参照）

○第十五回臨黄教化研究会

二月十三日、十四日の両日、花園大学の教堂並びに花園会館において臨黄合議所主催による第十五回臨黄教化研究会が開催され、本派からは教区順に佐分昭文師（第一教区豊光寺副住職）、澤宗秀師（同林光院副住職）、平塚景山師（同養源院副住職）、有浦宗健師（同長得院副住職）、中山周真師（同慈雲院副住職）、

須賀集信師（同瑞春院副住職）、荒本文紹師（第二教区光照寺住職）、佐々木柴堂師（第三教区天正寺住職）、加藤幹人師（第四教区南陽寺住職）、松本昭憲師（第六教区光明寺住職）、松下恵悟師（同永徳寺住職）の十一名が参加し研鑽を積んだ。また開講式と基調講演には佐分宗務総長も出席した。

○臨済宗連合各派布教師特別研修会

ならびに理事会

二月二十六日より二十八日まで、建仁寺（京都市東山区）に於いて布教師特別研修会が開催され、初日の開講式と理事会には佐分宗務総長が、最終日の閉講式には矢野前教学部長が出席した。

○禅文化研究所理事会

三月六日、公益財団法人禅文化研究所理事會が同所にて開催され、佐分宗務総長が出席した。

○鹿苑寺浄蔵貴所遷座及び新参拝路開通式

三月十一日、鹿苑寺（澤宗泰前執事長）において、浄蔵貴所遷座及び新参拝路開通式が行われた。当日は有馬管長を導師に、鹿苑寺法類寺院による東日本大震災没故者供養の諷経の後、有馬管長、佐分宗務総長、澤前執事長の三名によりテープカットが行われた。

（北山だより70ページ参照）

○定期宗会

三月十三日、各教区から登山した七名の宗會議員、評議會議長、鹿苑寺・慈照寺各代表、内局員全員の計十六名が出席のもと、令和元年度定期宗会が本山會議室で開催された。有馬管長の入場後全員で開山諷経、続いてご挨拶をたまわった後、田中恵山師（第六教区龍源寺住職）を議長とし審議に入った。代議員、会計監査員の選定に続き、平成三十年度相国寺派・相国寺本山決算報告、令和二年度相国寺派・相国寺本山予算案、平成三十年度承天閣美術館

決算・事業報告、令和二年度承天閣美術館予算案・事業計画案が承認可決された。

○春期巡教

臨済宗連合各派布教団に所属する本派布教師の「令和二年度定期巡教」で、松本昭憲師（第六教区光明寺住職）、佐々木契堂師（第三教区天正寺住職）、平塚景山師（第一教区養源院副住職）が巡教する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、すべて中止となった。

○第四教区若狭少年研修会

四月二日、開催予定だった第五十一回・第四教区若狭少年研修会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となった。

○相国寺派宗務本所新内局発足

五月一日付で、佐分宗順師（豊光寺住職）の宗務総長による新内局三期目が発足した。

任期は三年間。

新内局人事は、庶務部長に鈴木景雲・前承天閣美術館事務局長、財務部長代理に久山哲永・前慈照寺執事長代行、教学部長に江上正道・前慈照寺執事、承天閣美術館事務局長に和田賢明・前鹿苑寺執事、鹿苑寺執事長に山木雅晶・前本派財務部長、慈照寺執事長に澤宗泰・前鹿苑寺執事長がそれぞれ着任した。

○慈照寺開山忌

五月二十一日、慈照寺（佐分宗順住職）では開山忌並びに開基足利義政公の諷経が厳修された。本年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、住職、執事長、執事のみにて執り行われた。

○相国会本部役員会

令和二年度相国会本部役員会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、文書会議にて議決された。

平成三十一年度事業報告、平成三十一年度決算報告、令和二年度事業計画案、令和二年度「相国会本部研修会」中止の件について、令和二年度予算案の五つの議案について郵送にて採決し、それぞれ承認可決された。

今回より新理事として第六教区工藤義信氏が就任し、同氏には委嘱状を送付した。

令和二年度相国会理事、顧問は左記の通り。

理事	顧問
第一教区 片岡 匡三	澤 宗泰
第二教区 波多野 外茂治	牛江 宗道
第三教区 土倉 忠彦	梶谷 承忍
第四教区 伊藤 彰	木下 雅教
第五教区 杉原 定	加藤 文保
第六教区 工藤 義信（新任）	田中 恵山

○前堂転位式

六月一日、開山堂に於いて第五教区霊雲寺（三代政道住職）徒弟の三代積峰師の前堂転位

式が挙行された。また同日付で三代氏が同教区霊雲寺副住職に就任した。今後の活躍が期待される。

三代師は平成九年生まれ、国立広島大学卒業後、相国寺専門道場にて修行された。拝塔偈は左の如し。

萬年鐘漏響青松
初志不忘禅道共
佛祖眞前恭礼拝
従今種徳一生重



三代積峰師

○令和二年度春期特別拝観中止

三月二十四日より六月四日までの春期拝観による法堂・方丈・宣明（浴室）を公開の予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、特別拝観は中止となった。

秋期特別拝観（通常法堂・方丈・開山堂を公開）も、同様の理由により現時点で中止を予定している。（詳細はホームページを参照下さい）

○観音懺法会「ご先祖追善供養」中止

伊藤若冲筆「動植綵絵」コロタイプ複製画三十幅を方丈に掛けて公開する観音懺法会「ご先祖追善供養」は、本年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となった。

○観音懺法会

年中行事の一つの「観音懺法会」が、恒例により六月十七日午前七時半より厳修された。本年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止

のため、参拝者の受け入れは取りやめ、僧侶のみにて執り行われた。

前述の記事の通り、観音懺法会「ご先祖追善供養」が中止となり、また、方丈内の換気を徹底するため、温湿度管理の都合上、本年は「動植綵絵」コロタイプ複製画を掛けることが見送られた。代わって文室宗言筆「三十三観音図」を掛けて観音懺法会を執り行った。

この「三十三観音図」は東福寺にある明兆筆の三十三観音を忠実に写したもので、平成二十二年まで観音懺法会にて掛けられていた。



諷経する一同（右側上部は三十三観音図の一部）



白衣観音と文殊（写真中央右）、普賢菩薩（写真中央左）

諸役は次の通り。

◆役配

導師 ^{どうし}	昭文塔主(豊光寺副住職)
香華 ^{こうげ}	宗秀塔主(林光院副住職)
自帰 ^{ずき}	豊光大和尚
打磬 ^{たけい}	泰量塔主(光源院副住職)
太鼓 ^{たいこ}	正道東堂(眞如寺住職)
大鉞 ^{おおぼち}	景山座元(養源院副住職)
中鉞 ^{ちゅうぼち}	文紹座元(光照寺住職)
小鉞 ^{こぼち}	宗健座元(長得院副住職)
維那 ^{いの}	普廣和尚

鼓鉞運び

周真座元(慈雲院副住職)
集信座元(瑞春院副住職)



坐禅会のご案内

※現在、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、本山維摩会ならびに東京維摩会は休止しております。再開予定等の詳細につきましては相国寺派ホームページをご覧ください。

本山維摩会^{ゆいまかい}

毎月第二・第四日曜日開催
(※一月第二、八月第二・第四、十二月第四日曜日は休会です)

相国寺の維摩会は、明治時代に当時の第一二六世荻野独園住職が、主に在家を対象として始めた坐禅会であり、以来歴代の相国寺住職が指導にあたってきました。第二次大戦中より戦後昭和三十八年頃までは、相国寺塔頭大光明寺で開催され、それ以降は再び本山での開催となり、現在に至っています。

維摩会の名称の由来は、経典『維摩経』^{ゆいまきょう}の主人公で、在家でありながら釈迦の弟子となった古代インドの維摩居士からつけられたものです。

会場…相国寺 本山大書院
時間…午前九時より十一時迄
内容…坐禅(九時～十時半)

法話(十時半～十一時)

注意点…当日は八時五十分までに必ずお集まり下さい。十人以上で参加の際は、前日までに電話連絡をお願い致します。(電話〇七五―二三一―〇三〇二)

東京維摩会 ゆいまかい

尚、満員の場合はやむなく御断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。
初めての方には、別室で坐禅指導を行います。

威儀…服装は、楽でゆったりとしたものが望ましい。肌の露出が多い服やフード付きの上着、スカート、硬い素材（デニムなど）は避けて下さい。

会場…相国寺東京別院 方丈・客殿

有馬管長坐禅会

時間…午前十時半より正午頃迄

内容…『寒山詩』提唱、坐禅、茶礼

注意点…五人以上で参加の際は、前日までに電話連絡をお願い致します。

満員の場合はやむなく御断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

威儀…服装は、楽でゆったりとしたものが望ましい。肌の露出が多い服やフード付きの上着、スカート、硬い素材（デニムなど）は避けて下さい。

小林老師坐禅会

時間…午後一時より二時半迄

内容…『臨濟録』提唱、坐禅、茶礼

注意点…五人以上で参加の際は、前日までに電話連絡をお願い致します。

満員の場合はやむなく御断りする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

威儀…袴を貸与するも、足りない可能性がありますので、服装は、楽でゆったりとしたものが望ましい。肌の露出が多い服やフード付きの上着、スカート、硬い素材（デニムなど）は避けて下さい。

※開催日を変更する場合があります。最新の情報は、相国寺派ホームページをご覧ください。相国寺東京別院
（電話〇三―三四〇〇―五八五八）までお問い合わせ下さい。



東京維摩会会場 方丈・客殿 玄関



TEL 03-3400-5858

会場：方丈・客殿

〒107-0062 東京都港区南青山6丁目13-12

第一教区

○第一教区総会

二月十二日、第一教区総会が開催され、有馬管長以下、第一教区各寺院住職、閑栖和尚、副住職の計二十二名が出席した。

○湖北黄州安国禅寺よりマスク寄贈

四月七日、中国湖北黄州安国禅寺の崇諦法師より本派管長有馬頼底宛にマスク、手袋、ゴーグルを義捐品としてご寄贈いただいた。崇諦法師の師匠である浄慧法師と有馬管長はかねてより親交があり、今回の義捐品寄贈となった。コロナウィルス感染症の拡大防止のため、相国寺内にて大きな助けとなった。

○大光明寺「出町妙音弁財天」

大光明寺（矢野謙堂住職）では、飛び地境内の出町妙音堂で例年行っている「春季大祭」と、「巳の日法要」を、コロナウィルスによる新型コロナウイルスの蔓延に依り、参拝者の感染防止と安全確保のため無参拝法要とし、それぞれ四月二十二日と、七月一日に住職のみで執り行った。大光明寺では十一月二十七日に「秋季御火焚祭」、来年五月九日に「巳の日法要」の開催が予定されている。

弁財尊天御真言

「おん そらそば てい えい そわか」

○眞如寺「半僧坊大権現疫病退散祈祷」

眞如寺（江上正道住職）では、例年五月第二日曜日に鎮守「半僧坊大権現」の御開帳、特別拝観を行っているが、本年はコロナウィルス感染拡大を防ぐために参拝者の受け入れを中止し、五月十日に、お堂内で「疫病退散祈祷諷経」のみを行った。

半僧坊大権現御真言

「おん なんのう ちりちり そわか」

第二教区

○長遠寺 藤井實道閑栖和尚 遷化

十二月九日、長遠寺（京都市上京区）の藤井實道閑栖和尚が九十六歳で遷化された。師は大正十三年のお生まれで、中学生のころ大徳寺塔頭三玄院の先々代誠堂和尚の御縁により、真珠庵の謙州和尚の弟子となり研鑽を積まれた。臨済

学院専門学校（現花園大学）卒業後、大徳寺専門道場へ掛搭し、盛永宗興老大師をはじめ同参の方々と大徳寺専門道場の興隆に尽力された。昭和二十七年に長遠寺に入寺後は寺門興隆にあたられ、堂宇の修復、復興に励み業者を入れず尽力されたその思いは強く、八十歳頃まで作務三昧の日々を送られた。本堂の修復、墓地整理、植木剪定、境界の塀の設置、旧書院の解体など多岐にわたり境内の護持発展に尽力された。

平成十二年に閑栖とられたが、彼岸会、お盆の墓経、檀信徒法要など精力的に出頭された。平成二十三年に体調を崩されてからは、治療の日々を過ごすこととられた。そして、令和元年十二月九日、寺坊の椅子で眠るよう旅立たれた。

興聖寺派長門玄晃管長猊下御導師のもと、出水門中、縁故寺院の御尊宿方に御出頭賜り、十二月十二日に通夜、翌十三日に津送が厳修された。

第三教区

○瑞林寺夢窓国師毎歳忌

三月二十九日、瑞林寺（三重県津市片田井戸町・長谷寺高山宗親兼務住職）では、開山毎歳忌を厳修した。

当日は、新型コロナウイルス肺炎の感染防止の為、ほとんどの参詣者はマスクを着用し参列した。

始めに本堂にて本尊回向、続いて佐々木家先祖供養並びに戦士戦没者追善供養の後、夢窓国師生誕地記念碑前に於いて拝塔諷経を行い国師の遺徳を偲んだ。



瑞林寺境内記念碑前で住職を導師に諷経する参列者

第四教区

○宗務支所 支所会

十二月十九日、眞乗寺に於いて開催。宗会議員・正副支所長の改選を行った。

○宗務支所 支所会

二月十二日、眞乗寺に於いて開催。春季巡教、龍虎寺周山和尚津送について協議した。

○若狭相国会 役員会

二月十二日、蘭部彦兵エに於いて開催。春季巡教、少年研修会の日程について検討した。

○龍虎寺津送

三月二十五日、JA若狭西部セレモニーホールに於いて、龍虎寺第十七世田村周山和尚津送・新忌斎を厳修した。近隣、縁故、部内和尚並び檀信徒多数参列した。

○若狭相国会 少年研修会

四月二日、第五十一回若狭少年研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止とした。

○若狭相国会 役員会

四月十三日、眞乗寺に於いて開催。令和元年度会計監査・令和二年度若狭相国会総会について協議した。

○宗務支所 支所会

五月十一日、眞乗寺に於いて開催。定期宗議会報告・令和元年度教区会計報告を行った。

○若狭相国会総会

五月十九日、若狭相国会総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止とした。

第五教区

○雲州一派新年会

一月三日、富田寺に於いて開催した。

この行事は、富田寺古書『年中記録』（明和五年）の「正月禮」の項に記載があり、これに由れば、雲州一派寺院（以下「一派」と云う）はもとより一派の住職のみならず、一派所轄の庄屋・年寄りなど役職を担う人々が富田寺に参集し、古格慣例に習い儀式が行われたことがよみとれ、現在では、この「正月禮」を継承しつつ、表題に記す「雲州一派新年会」と名を改め、連綿と今日に至っており、本年も無事に行う事が出来た。



富田寺古書『年中記録』

○興善寺閑栖和尚寺院逝去

一月十七日、出雲市斐川町の興善寺閑栖和尚（周藤隆道師）寺院の周藤竹子氏が、九十三歳で天寿を全うされた。

○出雲相国会三役会

二月十九日、富田寺に於いて開催した。

後日開催する理事会に向けて審議する議案、加えて改選の年に当たるので、令和二年度より三年間の次期役員についても協議した。



出雲相国会三役会

○出雲相国会理事会

三月十日、富田寺に於いて開催した。先般開催した三役会を受け、四月に開催予定の総会に向け、事業・決算・予算・次期役員等について協議した。

理事会に於いては、令和元年度事業報告、決算報告・令和二年度事業及び予算案について審議し合意を得た。加えて次期役員の選出にも了承を得た。但し、これら理事会での合意並びに了承事項は出雲相国会の規約上、総会（代議員会）の承認を以って議決となるため、後に記す総会の延期にともない、あくまで総会開催までの暫定的な措置として、理事会了承の新役員（暫定）で出雲相国会を運営することとした。

○出雲相国会総会

四月二十一日に開催予定の総会は、同月十六日に、政府より新型コロナウイルス感染拡大防止の為発令された「緊急事態宣言」を

受け、三役相談の上、総会の開催を暫く延期する事にした。この「緊急事態宣言」は、五月十四日に解除となり、これに由り再び三役を招集し、出雲相国会の今年度の事業運営について協議をした。

この会議では主として、ウイルスによる感染防止を念頭に意見を出し合い、この感染防止を踏まえた上で、出雲相国会の開催を検討した。については理事・代議員の皆様は書面を郵送し、理事及び三役会より提出する議案の是非を問い、これを以って総会（代議員会）とその議決とする事に意見の一致をみた。

前述する文書会議は、出雲相国会において初めての試みとなるもので、この書面決議によって、令和元年度事業報告、決算報告・令和二年度事業及び予算が無事議決承認された。しかし令和二年度の事業内容の一部では、通常通りとはいかず、残念ではあるが、今年度に限り「親子坐禅会」「本山団体参拝」を中止する事とした。

今後の事業活動については感染拡大防止と予防の観点から、かつウィルスの終息具合を見極め、理事並びに三役において検討して行く事となった。
令和二年度より三年間、新役員は左記の如くだった。

会長…杉原	定(富田寺)	再任
副会長…瀬崎	兼次(西光寺)	再任
会計…勝部	徹(東光寺)	新任
監事…金山	恒義(本誓寺)	新任
監事…金森	大融(西光院住職)	新任



○西林院納骨堂上棟式
三月二十九日、午後三時より宮崎県串間市の西林院(田中恵山兼務住職)に於いて、龍源寺副住職田中正明師の随喜、並びに役員、檀信徒、工事関係者の出席をいただき、晴天の下、納骨堂上棟式を厳修した。
式の後には、紅白の餅を撒いて工事の無事を願い、檀信徒皆でお祝いをした。



上棟式出席の役員と工事関係者

第六教区

教化活動委員会活動報告

教化活動委員会委員長 佐分宗順

本年は新型コロナウイルス(COVID-19)による、政府の緊急事態宣言を受けて、多人数の集合する催しは中止することといたしました。諸会議は文書会議等ですませ、本山特別拝観や承天閣美術館は当分の間閉館といたしました。また研修会等も控えて参りました。緊急事態宣言は一応解除となりましたが、まだ第二波第三波の可能性もあり、慎重に事態を見極め、今秋以降の再開を検討してまいります。

現在準備中の研修会として、相国寺史編纂室研究員による次の二つの講座を予定しております。

【相国寺研究】

中井裕子研究員

二〇一六年に『室町時代の相国寺領荘園』と題して、講義を二回行いましたが、その続きとして第三講「塔頭の荘園―普広院領を中心に―」、第四講「戦国時代から豊臣期の相国寺領について」の二回を企画中。

藤田和敏研究員

テーマと演題 「明治期の臨済宗―宗政家と教団運営―」

第一回 「教導職制度と臨済宗各派の動向」

第二回 「『宗制・寺法』の制定と教育布教制度・宗議会の開始」

第三回 「辣腕宗政家前田誠節と妙心寺派運営の実態」

第四回 「前田誠節の失脚と妙心寺派の危機」

内容

明治期の臨済宗は、近代化を促進するために、各本山が協力して教育・布教機関の設立など様々な事業を展開しました。よって、この時期の相国寺派の歴史を正確に位置づけるためには、広く臨済宗全体の調査研究を進める必要があります。今回の研修会では、明治期における臨済宗について、宗内の最大勢力である妙心寺派の動向を中心に解き明かします。

利用する資料は、明治期に刊行されていた仏教界の業界紙『明教新誌』、妙心寺派の宗報『正法輪』などです。この時期の『正法輪』は、宗内・派内の動きを徹底的に事実に基づいて報道する方針で編集されており、妙心寺派および臨済宗が近代化を推進するに当たって直面した困難や苦悩が如実に表現されています。現在につながる宗門運営を確立した先人の努力を、歴史学的な視点から捉え直してみたいと思います。

開催日程は未定（決定次第、案内いたします）

【現代問題研究】

現代問題の取り組みとして、新型コロナウイルスとその後の社会と宗教の問題を取り上げ、これから普及が予想されるキャッシュレスの問題と合わせて、研修会を予定しています。本会是一般社団法人京都仏教会との共同研究です。

開催日程は未定（決定次第、案内いたします）

【講義録発刊】

相国寺研究十『足利将軍と中世仏教』 芳澤 元 著

相国寺教化活動委員会 二〇一九年十二月三十一日発行



一般財団法人 京都仏教会と共同研究 『キャッシュレス社会と宗教活動』

一般財団法人 京都仏教会 編

一般財団法人 京都仏教会 宗教と社会研究実践センター

二〇二〇年六月二十日 発行



◆今後の発行予定

『キャッシュレス社会の問題』（仮題）

梶谷 懐、高口康太 共著

（二〇一九年十二月十七日から二〇二〇年一月二十日にかけて行われた研修会の講義録）

『禅宗の特徴』（仮題）

小川 隆 著

（二〇二〇年一月二十八日から二十九日にかけて行われた

小川隆氏による研修会の講義録）



各講座および研修会の『講義録』をご希望の方

は、一冊につき手数料一千元を添え、下記の相国寺派宗務本所内教化活動委員会宛にお申し込みください。各講座の参加申し込みや既刊の『講義録』リストは、相国寺派ホームページの「資料室」・「書籍案内」をご覧ください。

申込先

相国寺教化活動委員会

〒六〇二一〇八九八

京都市上京区今出川通烏丸東入相国寺門前町七〇一

電話〇七五二二三一〇三〇一

FAX〇七五二二二三五九一

ホームページ (<https://www.shokoku-ji.jp>)

相国寺史編纂室だより ―疫病と相国寺の逸話―

今年はコロナウイルスが世界的に猛威を振るい、日本でも外出の自粛が要請されるなど、日常生活に多大な影響が出ています。歴史を紐解くと、このような疫病の流行は何度も繰り返されています。今回は、室町時代の史料から相国寺が疫病にどう向き合ってきたのかを紹介したいと思います。

伏見宮貞成親王は『看聞日記』（『相国寺史』第一巻に収録）で、応永二十八年（一四二一）に流行した疫病について記録を残しています。それによると、疫病発生の前年である応永二十七年は、長く日照りが続いたため、全国的に大凶作になりました。応永二十八年になると、諸国から飢えた人々が食糧を求めて京都にやってきました。諸大名や天龍寺・相国寺などが人々に食べ物を振る舞いましたが、全く追い付かず、路頭で倒れる餓死者が数えきれないほど発生しました。死者が増え不衛生になったためでしょうか、春には疫病が流行りだしました。疫病は飢えた庶民だけでなく、公家たちの命も奪っていき、すべての人が恐怖に怯えながら生活していました。そのころ、後小松上皇が次のような夢を見ました。相国寺の門前に牛が千頭ばかり群集し、門の中へ入ろうと

していました。門番が牛たちの侵入を防ぎましたが、そのとき先頭の牛が「ここは坐禪をするところだ。入ってはいけない」と言って退散し、京都市中に乱入しました。そして夢の中の人物が「この牛たちこそが疫病の神様です」と言ったのです。

ここで上皇は目が覚めました。室町幕府將軍の足利義持が上皇の御所に参上したときに、上皇が夢の話を持に語りました。それを聞いた義持は、すぐに相国寺に行つて、相国寺僧全員に坐禪を勤行するよう命じました。寺僧は命令通り坐禪に打ち込みました。このように、相国寺は時の権力者である上皇や將軍から、疫病をくい止める大きな力を持つていたと期待されていたのです。この歴史的な飢饉と疫病も、翌二十九年には収まり、九月七日に將軍義持の主催で、去年の飢饉と疫病による死者を供養するため施餓鬼が行われました。その施餓鬼は相国寺をはじめとする五山の禪僧たちが中心となつて営まれました。

このように相国寺は、疫病や天変地異が起こったときに朝廷・幕府に協力して国家的な災厄を乗り越えてきたのです。（相国寺史編纂室 中井裕子）

大本山相国寺御用達 社寺建築 (株)北村誠工務店 〒603-8225 京都市北区紫野南船岡東町45 電話 京都 (075) 441-0563 FAX 京都 (075) 441-0571	〒604-8356 京都市中京区大宮通錦上ル 電話 〇七五 八二一 三八七二 
大本山相国寺御用達 庭園 設計・施工 樋口造園株式会社 〒602-8341 京・上京区七本松通中立売下ル三軒町77 電話 (075) 462-1385 FAX (075) 464-6120	大本山相国寺御用達 御法衣・仏具 (株)後藤利法衣店 〒604-8273 京都市中京区西洞院通三条上ル 電話 (075) 221-4587 FAX (075) 223-0094 フリーダイヤル (0120) 014587
大本山相国寺御用達 精進料理 矢尾治 〒600-8486 京都市下京区高辻堀川町358 電話 (075) 841-2144 FAX (075) 841-2110 http://kyoto-shoujinryouri-yaoji.homepage.jp	文化財堂宇修復保存 大本山相国寺御用達 社寺建築 設計・施工 数寄屋建築  澤甚株式会社 澤野工務店 本社 〒605-0069 京都市東山区東大路通知恩院前上ル2筋目東入 TEL (075) 561-5394 (代) FAX (075) 533-3775 山科事務所・工房 〒607-8126 京都市山科区大塚元屋敷町62 TEL (075) 541-1257 (F)
貴重な御法衣の御用は 大本山相国寺御用達 後藤新助法衣仏具店 〒616-8041 京都市右京区花園寺ノ前町30番地 電話(代表) (075) 462-3915番 ファクシミリ (075) 462-3616番 URL http://www.rinzai.jp E-mail: rinzai@rmail.plala.or.jp	天和三年創業 大本山相国寺御用達 藤安田念珠店 〒604-8072 京都市中京区寺町六角角 TEL (075) 221-3735 http://www.yasuda-nenju.com 



温故知新を織る……

株式会社 龍村美術織物

URL <http://www.tatsumura.co.jp/>

関西店 〒615-0022 京都市右京区西院平町25
ライフプラザ西大路四条2階
TEL (075) 325-5580 FAX (075) 325-5606
関東店 〒104-0031 東京都中央区京橋2-8-1
八重洲中央ビル5階
TEL (03) 3562-1212 FAX (03) 3562-1230

大本山相国寺御用達
京仏具・仏壇

株式会社 佛光堂

〒600-8033
京都市下京区寺町通仏光寺下る
(四条寺町、南へ200M、西側)
TEL (075) 351-4092 FAX (075) 351-7231

大本山相国寺御用達

京都市指定

有限会社 丸水設備工業

●上下水道衛生設備 ●ボアリング井戸 ●消火栓設備
●庭園池の濾過設備 ●お墓の雨水処理 ●設計施工

〒603-8354 京都市北区等持院西町32
TEL (075) 462-8888(代) FAX (075) 462-8998



創業明暦年間

登録商標 七味家

〒605-0862 京都市東山区清水二丁目221
TEL (075) 551-0738 / FAX (075) 531-9352

ゴヨウハシチミヤ
☎ 0120-540738
9:00~18:00 (冬季は9:00~17:00)
<http://www.shichimiya.co.jp/>

税理士 奥谷 昌雄
税理士 内藤 誠

〒602-8026
京都市上京区新町通榎木町上る春帯町340番地
TEL (075) 256-2551 FAX (075) 255-7461



寺社の電気、空調、防犯、防災設備

有限会社 土橋電気設備

〒606-0953 京都市左京区松ヶ崎海尻町4番地4
まちゃまちゃ 105号
TEL 075-703-6331 FAX 075-703-6332

お茶会・式典・作品展 など
イベントのお手伝いは弊社へ

イベント設営・レンタルの京老舗
てらお貸物店

〒602-0029 京都市上京区室町通上立売上る室町頭町279番地の5
TEL 075-414-1464 FAX 075-414-1474
E-mail office@terao-rental.com
URL <http://www.terao-rental.com>

夢のある空間づくりのパートナー

トータルディスプレイ 企画・設計・施工・管理
TOTAL DISPLAY
FUSHIMI KOHGEI
株式会社 伏見工藝

[本社] 〒612-8009 京都市伏見区桃山町見附町11番地
TEL 075-621-2833 FAX 075-611-5465
[宇治工場] 〒611-0041 京都府宇治市横島町吹前15番地
TEL 0774-23-9255 FAX 0774-23-9254
e-mail: fushimi@d1.dion.ne.jp

Future Active Alliance

office やまと

パソコンからネットワーク・サーバ構築まで
IT環境のトータルアドバイザ

本 社 〒604-8842 京都市中京区壬生土屋ノ内町19-13
TEL: 075-311-9000 FAX: 075-311-9494
中央支社 〒615-0846 京都市右京区西京極徳大寺団子田町29-62
TEL: 075-322-0110 FAX: 075-322-0770
E-Mail: info@office-yamato.net

こころをつたえる

和文具 和雑貨

株式会社 表現社

〒602-0861
京都市上京区新烏丸通り荒神口南入る
TEL: 075-222-1345 / FAX: 075-222-1354
<http://www.hyogensha.net/>

式典写真、風景写真など
あらゆるニーズにおこたえします!

柴田 明蘭
写真事務所

(公益財団法人) JPS 日本写真家協会 会員

☎ 090-8387-7735
FAX 075-311-9369

〒615-0057 京都市右京区西院東長町24 シェルブリュー一四番 603



ANA
CROWNE PLAZA
KYOTO

世界の歴史都市、
京都の中央に位置し、
世界文化遺産「二条城」の前に佇む
ANA クラウンプラザホテル京都。

ANAクラウンプラザホテル京都

〒604-0055 京都市中京区堀川通二条城前
Tel 075-231-1155
www.anacpkkyoto.com

大本山相国寺御用達
寺社庭園・町屋庭園・露地庭
作庭 管理
植昭 長岡造園
〒616-8305 京都市右京区嵯峨広沢御所ノ内町13-3
電話 (075) 872-0005 FAX (075) 872-0004

www.shoyeido.co.jp

香

大本山相国寺御用達
香老舗 松榮堂

京都本社／京都市中京区烏丸通二条上ル東側 TEL 075-212-5590 FAX 075-212-5595
東京支店／東京都中央区日本橋人形町 2-12-2 TEL 03-3664-2307 FAX 03-3639-4969
札幌支店／札幌市中央区南 8 条西 12 丁目 3-6 TEL 011-561-2307 FAX 011-563-3502

京都本店 産寧坂店 京都駅 薫々 嵐山香郷 大阪本町店 銀座店 人形町店 青山香房 札幌店

金沢本社社屋 東京本社社屋

なくてはならない印刷会社を目指して—
ヨシダ印刷グループは、業務効率化と情報伝達に関する「なくてはならない」
製品・サービスを提供することで、お客様の発展と新しい社会の実現に貢献します。

ヨシダ印刷株式会社 関西支店

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-8-3 新大阪サンアールビル北館6F
TEL.06-6305-7888 FAX.06-6305-7300 URL https://www.yoshida-p.jp/ 【営業所・工場】 富山・金沢本社・江東潮見
【金沢本社】 〒921-8546 石川県金沢市御影町19-1 TEL.076-241-2141(代) 【東京本社】 〒130-0014 東京都墨田区亀沢3-20-14 TEL.03-3626-1301(代)

情報セキュリティマネジメントシステム ISO27001:2013

日本水なし印刷協会 認可工場 (環境保全対策)

JAPAN COLOR 標準印刷認証 ヨシダ印刷株式会社 金沢本社工場 江東潮見工場

大本山相国寺御用達

文化財保存修理・文化財デジタル複製・文化財 IPM 調査・文化財調査
一般表具・絵画企画製作・漆/金箔施工・宗紋襖紙/御殿引手発売元

京表具 法悦庵

古文化財保存修理研究所 有限会社 矢口浩悦庵

本社・工房 〒602-8025 京都市上京区衣棚通り丸太町上る今薬屋町 318 番地
TEL(075)254-6021 (代) / FAX(075)254-6022
東京営業所 TEL(042)442-0177 oversea@koetsuan.com
www.koetsuan.com E-mail: art@koetsuan.com

なが——い、おつきあい。



貯める、運用する、借り入れる、積み立てる、備える、管理する…
京都銀行は、人生のさまざまなシーンで皆様を応援します。お気軽にご相談ください。

飾らない銀行
京都銀行

抹茶

全国並びに関西茶品評会 第一位
自園茶 農林水産大臣賞 30 回受賞

有馬頼底管長御好

御濃茶

まんねのみどり
萬年乃翠

御薄茶

じょうこう
常光



大本山相国寺御用達

宇治 久小山園

京都府宇治市小倉町寺内八六番地
お問い合わせ(0774)200909
●西洞院店 茶房「元庵」水曜休祝営業
京都市中京区西洞院通御池下ル
電話(075)2230909
●ジェイアール京都伊勢丹店 地下一階
●京都高島屋店 地下一階和菓子売場
【お取り扱い】全国有名茶店・茶道具店
www.marukyu-koyamaen.co.jp

御法衣・御袈裟・御水引・戸帳・打敷

華蔓・御晋山式用品一式・稚児装束

大本山 相国寺御用達

橘兵 草木兵助商店

〒604-0024 京都市中京区衣ノ棚通御池上ル西側
電話 (075) 221-0934 番 振替京都 01090-4-3476

相国寺御用達 北山金閣寺御用達 東山銀閣寺御用達



享保十一年創業 清酒「五紋神蔵」醸造元
松井酒造株式会社
京都市左京区吉田河原町1の6 電話 075 (771) 0246

大切な文化財を始め、建物の安全と安心の為に努力しています

電気設備工事・消防設備工事

A DACHI 足立電気工業株式会社

〒601-8045
京都市南区東九条西明田町34-21
TEL 075-681-4461 FAX 075-681-9767
E-mail: adachi-d@guitar.ocn.ne.jp

相国寺東京別院施工



誠心誠意 美しく正しい仕事を



株式
会社 **水澤工務店**

東京都江東区木場5丁目6番地1号
TEL 03-3641-7111
URL www.mizusawa-inc.co.jp



皆さまのお役に立てる、
コインパーキング。

着実に、一步一步。

キョウテク株式会社

本社

TEL **075-365-8000** FAX **075-365-8080**

〒600-8172 京都市下京区下平野町483番地1

● 編集後記 ●

◇相国会会員の皆様をはじめ本派各寺院、関係各位におかれましては、息災にてお過ごしでしょうか。令和2年、2020年の上半期が、このような年になってしまうとは、思いもよらない事でした。開催予定だった東京オリンピック・パラリンピックを楽しみにされていた方も多かったのではないのでしょうか。新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的感染拡大は、私たちの日々の生活を直撃し、政府や各行政機関の発表を連日注視し、それに伴う諸行事の中止、延期、在宅勤務や休校措置などをはじめ、皆様も危機感を持ってそれぞれに対応策をとられてきたと存じます。このような中、今夏もおかげさまで『円明』第114号を発刊することが出来、感謝申し上げます。

◇相国寺派、大本山相国寺では任期満了に伴い、去る5月1日付で新内局が発足いたしました。前内局の和尚様方には心より御礼申し上げます。

前任の矢野謙堂師より引き継ぎ教学部長職を拝命しましたが、なにぶん若輩者でございます。先輩諸師より継統されてきた本誌の発行はもとより、禅の布教伝道・研修・拝観などを通じて、本派の和尚様方、各寺院の檀信徒、相国会会員の皆様とともに研鑽を重ねてまいりたいと存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

◇有馬管長猥下、佐分宗務総長、片岡相国会会長には、励ましのお言葉を賜うことができました。また、現時点で中止、休止、延期、規模縮小などが決まっている諸行事、研修会についても掲載しましたのでご確認ください。今号より金閣寺、銀閣寺として知られる鹿苑寺、慈照寺のトピックスを取り上げる「北山だより・東山だより」を掲載させていただきます。知られざる両寺の魅力を、紙面を通じて改めてご覧いただきたいと思ひます。

◇臨済宗では、疫病退散を願う時に「仏頂尊勝陀羅尼」、「消災妙吉祥神呪(消災呪)」といったお経を読みます。天災・人災など一切の災難を消除する教えが説かれており、一心に唱えることによって一切の災難を消除し、一切の吉祥を成就できるとされています。各寺院で、疫病退散のご祈祷法要をされたところもあると思ひます。

◇今回のウイルス感染拡大は、当たり前すぎて気にも留めない日常生活の有難さに、改めて気づかされる機会となりました。そして今年もお盆を迎えます。皆様の菩提寺でもお施餓鬼法要、棚経などの予定を変更されることがありましようが、気持ちよく御先祖様のお迎えし、安寧な日々への感謝と疫病退散、水災害からの復旧を祈念し、この危機を乗り越えてまいりましょう。

今春の花々や新緑は、なぜか例年よりもきれいに見えました。秋の紅葉は心穏やかに眺めたいものです。残暑厳しい折、どうぞ御自愛ください。

(江上正道 記)

えん みょう
円明 令和2年(2020)夏号(第114号)
令和2年(2020)8月1日発行(年2回)

編集/相国寺派宗務本所 教学部

発行所/大本山相国寺・相国会本部

〒602-0898 京都市上京区今出川通烏丸東入相国寺門前町701 TEL075-231-0301 FAX075-212-3591

URL <https://www.shokoku-ji.jp> E-mail kyogaku@shokoku-ji.jp (教学部)

制作・印刷/ヨシダ印刷株式会社 カット/BUN



『円明』誌は、環境にやさしい「水なし印刷」「Non-VOCインキ」で印刷しています。



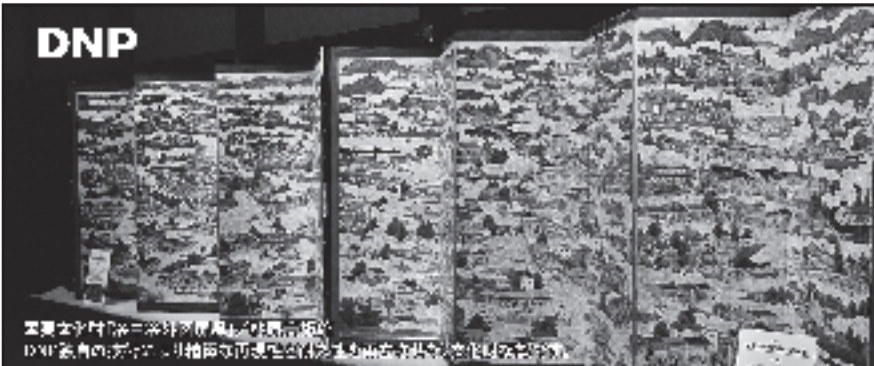
人と自然をつなぐ、伝統と革新をつなぐ。

想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

竹中大工道具館(兵庫県神戸市)
設計施工: 竹中工務店

株式会社 竹中工務店



DNP

歴史を未来につなぐ技術。

私たちは、これまで培ってきた印刷技術と情報技術を生かし、
かけがえのない文化遺産の保存と継承に貢献しています。

未来のあたりまえをつくる。

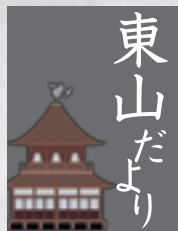
日本印刷株式会社



売店前に新設されたドライミスト



細かい霧が暑さ対策として期待される



慈照寺 圓通殿(売店)より

年々暑さが増す事により拝観者様方々への配慮としまして圓通殿(売店)入口、拝観者休憩椅子の軒下に「ドライミスト」を設置いたしました。

ご参拝後に少しでも涼んで下さり、気持ちよく下山して頂ければと思っております。



新参拝路の開通について

金閣寺で三月十一日に、新参拝路の完成を記念する式典があり、有馬管長・佐分宗務総長・澤前執事長によるテープカットが行われました。鏡湖池を挟んで舍利殿を望む踊り場は、以前は行き止まりの場所で混み合う事が多かったのですが、新参拝路により一方通行となり、混雑が緩和されるようになりました。

また、目立たない所にあった、平安時代の天台密教僧・浄蔵貴所の供養塔についても、新参拝路の入口付近に移設し、参拝者が拝観できるようにしました。この塔にお参りすると、浄蔵の不思議な力によって願い事が叶うとされています。

新参拝路については、平成二十八年より庭園整備の為に発掘調査を行い、今日に至ったものであり、澤前執事長の長年の夢が叶ったものであります。なお、庭園については今も整備が続いています。



新参拝路テープカット 写真右から佐分宗務総長、有馬管長、澤前執事長



法要中の一同



浄蔵貴所供養塔 右は有馬管長と澤前執事長

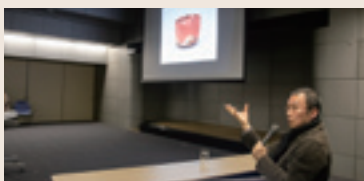
「茶の湯」展 体験イベント 和菓子教室

昨年11月9日、京菓子司 俵屋吉富協力のもと、和菓子教室を開催いたしました。35名の参加者が俵屋吉富、菓子職人の指導で計3個の上生菓子を制作いたしました。和菓子をを通して茶の湯文化の普及に努めました。



「茶の湯―禅と数寄」展 十五代 樂吉左衛門（直入）氏 記念講演

令和2年1月25日に「茶の湯」展を記念し、千家十職で陶芸家の樂直入氏を招き講演会を開催しました。「長次郎と光悦とわたし」と題し当館収蔵の茶碗の解説や樂茶碗の魅力について熱く語っていただきました。



撮影◎西村 浩一



撮影◎西村 浩一

教育プログラム 博物館講座

令和2年2月12日に承天閣美術館にて京都市教育委員会 京博連「博物館講座」が開催されました。87名の参加者があり、当館学芸員より相国寺の歴史や宝物紹介、展示会の解説が行われました。



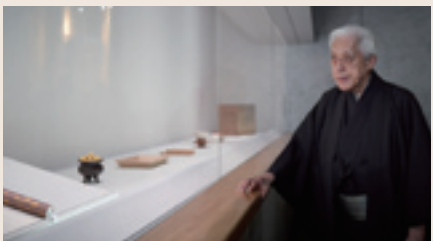
「茶の湯―禅と数寄」展

裏千家十五代宗匠 鵬雲斎大宗匠ご来館

昭和12年4月8日、相国寺法堂に於いて普明国師五五〇年遠諱に際して、裏千家十四代淡々斎宗匠により献茶式が行われました。その折、使用された献茶道具が「茶の湯―禅と数寄」展で公開されました。公開を記念し、十五代宗匠 鵬雲斎大宗匠をお招きし、献茶道具や当時の思い出話を語っていただきました。

普明国師遠諱記念献茶道具一式
相国寺蔵

撮影◎たや まりこ



撮影◎たや まりこ

現在の展観

「いのりの四季―仏教美術の精華」

令和2年4月12日(日)より7月19日(日)までの開催を予定しておりました「いのりの四季」展に關しまして、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため10月31日(土)まで臨時休館と致し、開催会期を令和2年11月1日(日)から令和3年1月17日(日)までに変更いたします。

また1月18日以降の展観の予定に關しましては、現在未定とし以後の予定は状況を鑑み判断させていただきます。



撮影◎西村 浩一



撮影◎西村 浩一

後水尾天皇像 幸仁親王筆

一幅 絹本着色

江戸時代 元禄十二(一六九九)年
相国寺蔵

後水尾院(一五九六―一六八〇)は第一〇八代の天皇で、退位後、四人の子が天皇として即位するなか、五十一年に及ぶ院政を敷いて君臨し、文化を牽引した。その文化は古典復興を基調としたもので、寛永文化として名高い。さらに、荒廃した相国寺の伽藍の再建にも尽力し、方丈、宝塔、開山堂などを寄進した。現在境内にある後水尾帝髮齒塚は、その宝塔跡である。

画面下部には剃髪して白衣の上に薄手の直綴をまとい、掛羅と呼ばれる黒の方形略袈裟を着けて座す、略装の老いた法体の人物が一人描かれている。高麗縁の上畳に縹緗縁の茵を敷いて座しており、腰から下の薄衣は左右に大きく流れ、衣の間からはその下に着用している白衣がのぞく。その容貌や掛羅をかける服装は、現存する後水尾院の御影のうち最も知られている、泉涌寺などが所蔵する代表的な作品の絵姿と共通する。本尊像は本紙左下に「兵部卿幸仁親王謹圖之(印)」とあり、有栖川幸仁親王(一六五六―一六九九)が、祖父の後水尾院の尊像を描いたものとわかる。

その上部の色紙形には後水尾院の詠歌が一首記されている。箱書や相国寺の記録である

『参暇寮日記』によると、幸仁親王の叔父で後水尾院皇子の霊元院(一六五四―一七三二)が和歌を着賛し、元禄十二(一六九九)年十二月七日に、天啓集仗(相国寺塔頭、瑞春院第六世)が拝領したという。同日、別宗祖縁(一六五八―一七一四 相国寺塔頭、慈照院第九世)、翌日に天啓集仗が仲介者の公卿、竹内惟庸のもとに御礼に赴いている。天啓集仗は幸仁親王の外戚(集仗は親王母の兄弟)にあたる人物である。以後、本尊像は後水尾院の回忌法要の際に方丈に掛けられるなど、近世相国寺を莊嚴した。

時ありて
はるしり
そむる
一花に
見よ
ひと花も
咲のこる
かは



とわ
永遠の安らぎ —石のカウンセラー—

株式会社 石 杖 都 みやこ



代表 坪田 忠 男

年中無休 営業時間／AM8:30～PM6:00 (日曜日PM5:00まで)

本 社：〒603-8103

京都市北区小山北玄以町 24 番地
(上賀茂橋西詰バス停前)

電話(075)491-4114(代)

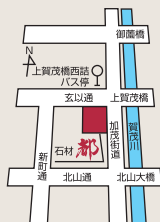
工 場：京都市北区上賀茂神山 389 番 24
(洛北病院バス停前)

電話(075)702-2440

夜 間：京都市左京区岩倉南池田町 117

電話(075)702-8814

御一報次第、遠近を問わず参上いたします。



心のすがた

降伏一切大魔最勝成就 (大般若祈祷)
「すべての災いや悪を祓いとり除き、諸々の願いをかなえ給え」
疫病退散 厄難消除

鹿苑寺不動堂 撮影◎教学部